

経営比較分析表（令和元年度決算）

石川県珠洲市 珠洲市総合病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	13	-	ド透則	救 護へ災
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	看護配置	
14,074	12,865	非該当	10:1	

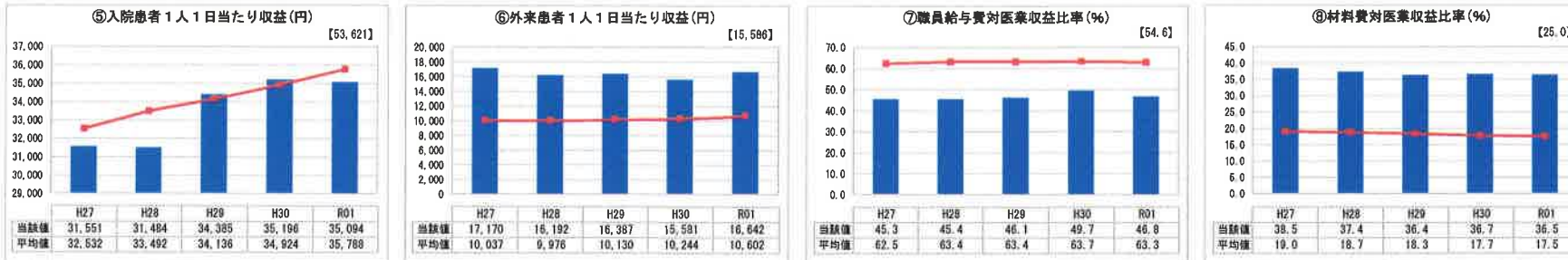
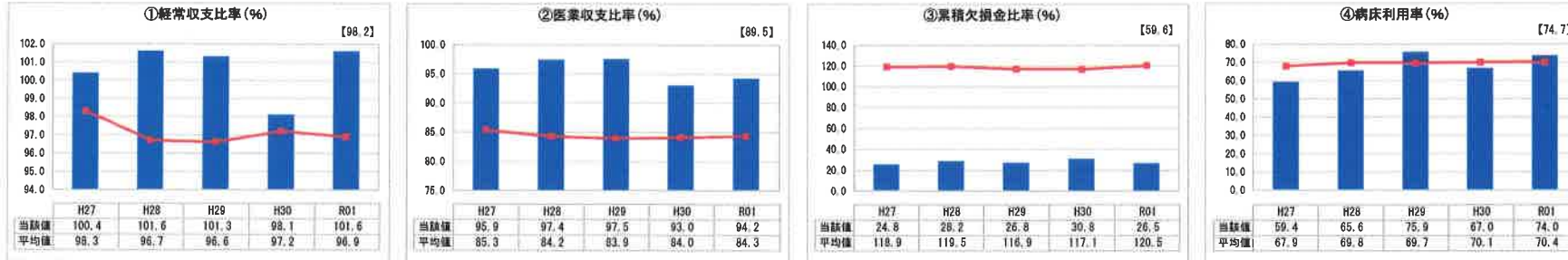
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU 未…未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪審判病院

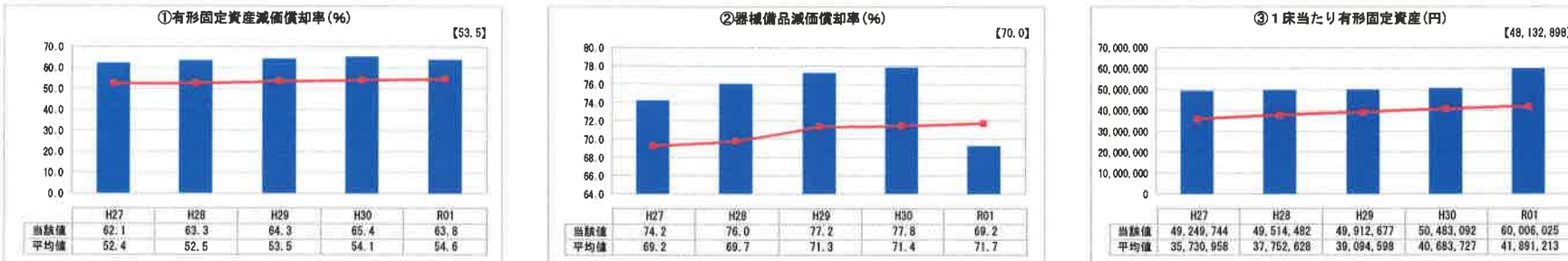
許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
156	-	7
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	-	163
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
154	-	154

グラフ凡例	
■	当該病院値(当該値)
-	類似病院平均値(平均値)
□	令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

公立病院改革に係る主な取組(直近の実施時期)

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-

I 地域において担っている役割

「市民の心の支えとなる、地域の中核病院」を病院理念として、医療設備の更新、電子カルテの導入等により、より良質な医療、効率的な医療の推進に努めている。また、地域に根ざした医療と健康管理を基盤とした、地域医療、健康増進活動及びファミリー・ケアからリハビリテーション、さらには在宅医療サービスに至る連続した包括的な地域医療に取り組んでいる。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本市は過疎化・少子高齢化が進んでおり、本院の入院・外来患者数ともに減少傾向で推移している。
 そのような状況においても、①経常収支比率は収支が黒字であることを示す100%以上となっている。また②医業収支比率及び③累積欠損金比率ともに、類似病院の平均値より良い傾向となっており、健全経営が保たれている。
 ④病床利用率は、平成31年4月1日付けで療養型病床32床を廃止したことにより、利用率が平均値を上回る転換となった。
 ⑤入院患者1人1日当たり収益は平均値の金額を若干下回っており、⑥外来患者1人1日当たり収益は平均値の金額を大きく上回っており、安定的な収益を確保することが出来ている。
 ⑦職員給与費対医業収益比率は平均値を大きく下回っており、経営全体に占める給与費の割合は低くなっている。一方⑧材料費対医業収益比率は平均値を大きく上回っているが、これは本院内給費を実施していることによるものである。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は平均値を上回っており、法定耐用年数を超過した資産を多く保有している現状にある。一方②器械備品減価償却率は令和元年度に平均値を下回ったのは、高額な設備更新を行ったことによるものと考えられる。
 ③1床当たり有形固定資産は平均値を上回っているが、これは平成9年度に新病院が開設されてから22年が経過し、設備更新の費用が年々増加していることによるものと考えられる。
 今後は長期的な更新計画に基づき、適切に資産の更新を図っていく予定である。

全体総括

経営の健全性・効率性を示す指標は概ね良好である。平成30年度は入院患者数の落ち込みなどにより、単年度収支で赤字に転じたが、令和元年度は入院・外来患者数ともに増加に転じたことで、再び単年度収支で黒字を達成した。
 地域が半島の先端に位置する本院では、過疎化に伴う人口減少は避けられないものであり、今後とも入院・外来患者数の減少傾向は懸念のものと考えられる。
 そういった中でも、経営の効率化を図りながら、収支の黒字化を継続していくことが重要である。
 次に、老朽化の状況を示す指標は、老朽化した資産を多く保有していることが示されており、今後は老朽化した資産を順次、計画に基づき更新していく予定である。